

## 【NEWS RELEASE】

2023年11月13日

各 位

株式会社三井住友銀行

タイ王国 タイ国立科学技術開発庁 (National Science and Technology Development Agency)  
との覚書締結について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、2023年11月13日に、タイ王国のタイ国立科学技術開発庁（National Science and Technology Development Agency、以下「NSTDA（※1）」）と日系企業を中心とする同国への投資促進に関する覚書を締結しました。なお、NSTDA との覚書締結は邦銀として初となります。

NSTDA は科学全般の研究開発・技術移転・人材育成を担っている政府機関であり、本覚書締結を通じて、タイへの進出、ビジネス展開をご検討されている日本のお客さまに NSTDA を紹介し、産学連携、研究開発、人材紹介・育成等の支援を行うことを企図しています。また、セミナーの開催等を通じ、お客さまへの情報提供に関する協働も行っております。

この度の覚書締結により、当行は NSTDA との協力関係を更に強化し、投資促進等の環境を整備することで、タイ政府が産業の高度化を目指して掲げる「Thailand4.0(※2)」、「BCG 経済モデル(※3)」の実現および「東部経済回廊 (Eastern Economic Corridor、以下「EEC」) (※4)」の開発等に貢献するとともに、現地におけるお客さまのニーズに、より一層お応えしてまいります。

&lt;ご参考&gt;

※1 NSTDAとは

1991年設立。高等教育・科学・研究・イノベーション省が管轄し、科学全般の研究開発・技術移転・人材育成を担っている政府機関。

※2 Thailand4.0とは

高度先進技術・イノベーションを導入し、産業高度化を図り、持続的成長を実現するというビジョンであり、国際競争力を強化し、官民の連携にて投資を呼び込むことで所得格差を是正するという方向性を示す目標。

※3 BCG 経済モデルとは

バイオ(Bio)・循環型(Circular)・グリーン(Green)経済モデル。

2021～2027年にかけて、農業・食品加工・医療・ヘルスケア、バイオ燃料・バイオ化学、観光といったタイの強みに焦点を当て最大限に生かすことで、産業の底上げから所得の拡大と環境保全を目指す考え。

※4 東部経済回廊 (EEC) とは

「Thailand4.0」を具体化する主軸として高付加価値産業を育成するべく、集中的に資本投下する開発地域。東部臨海地域の主要3県(ラヨン、チョンブリ、チャチュンサオ)が「東部経済回廊(EEC)」に指定されている。ロボット産業、次世代自動車産業など重点産業を誘致・育成する。

以 上